

森林管理道「青野八木山線」の紹介

静岡県経済産業部賀茂農林事務所森林整備課

青野八木山線は、静岡県の伊豆半島南部にある、松崎町岩科北側を起点とし、南伊豆町青野を終点とした、2町にかかる幅員 4.0m の森林管理道です。

終点付近にある青野大師ダムの建設により上流域の水源涵養機能への注目から森林整備への機運が高まり、本路線の整備が始まりました。県営工事として平成 20 年から工事着手し、令和元年度に開通となりました。現在は令和 8 年の完了を目指し松崎町内で改築工事を行っています。

本路線の利用区域は 815ha あり、その 68% にあたる 551ha が人工林、そのうち約 87% が 41 年生以上に成長し、木材資源が充実しています。

工事開始以降、利用区域内で約 268ha の森林整備が行われるなど、地域の森林整備に寄与しています。

また、豪雨等により地域の公道が被災した際には迂回路としての活用も期待されています。森林整備への寄与とともに、非常時のライフラインとしての役割も意識し事業に取り組んでまいります。



